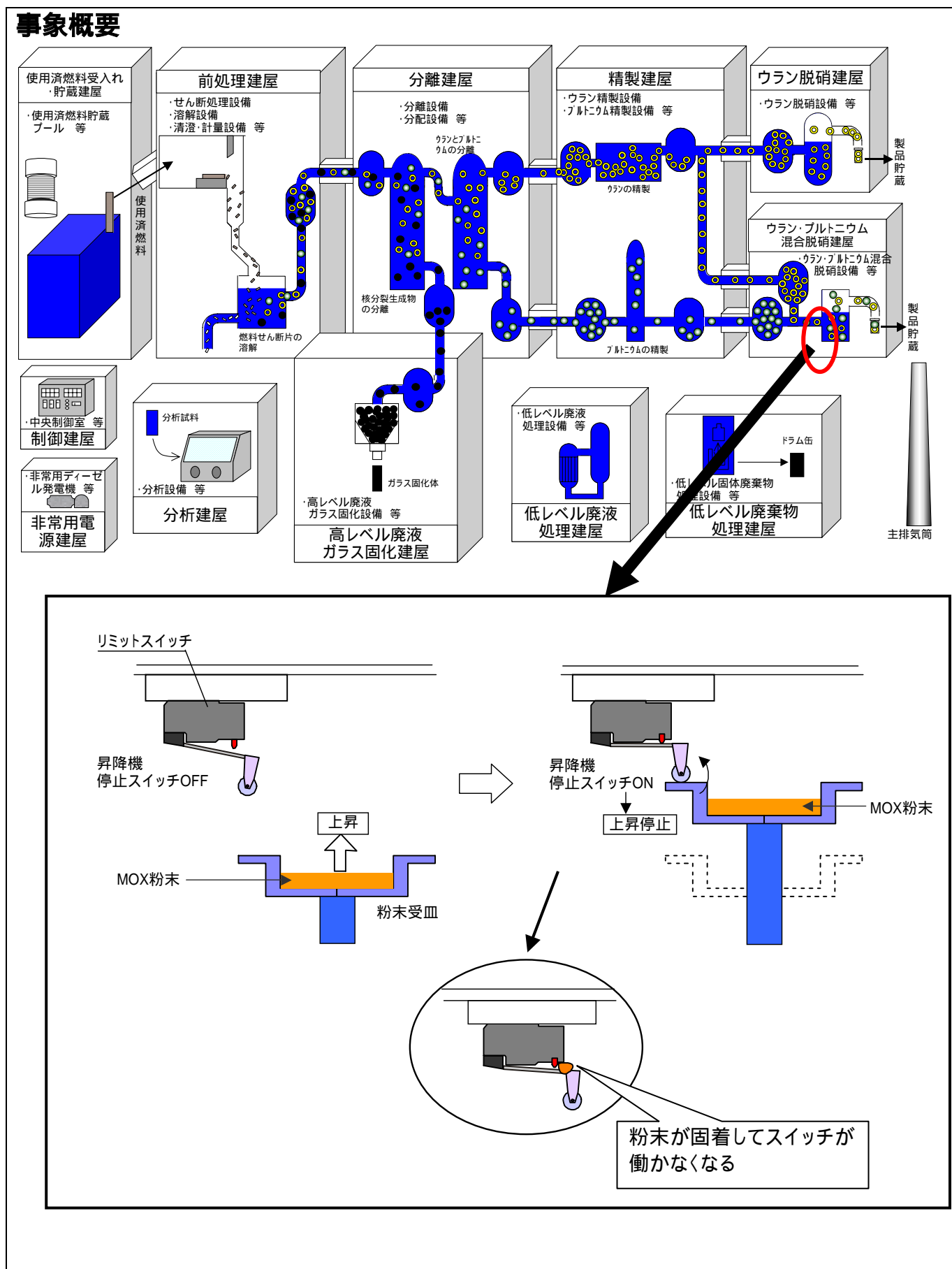


再処理施設のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 4 - 7)

件名	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備における搬送機の作動不良	
事象の概要	(1) 発生場所・機器 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋: 搬送機(ウラン・プルトニウム混合脱硝設備) (2) 発生の状況 施設停止中 (3) 概要 長期間(約1ヶ月)の停止中等に、リミットスイッチが固着 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。	
事象による影響	(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備のグローブボックス換気系が稼働しているグローブボックス内の事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 施設停止中にリミットスイッチを清掃し、正常な動作を確認した後に運転を再開するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 リミットスイッチに付着した粉末の除去作業は、作業員がグローブボックスに取り付けられているグローブを介し、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 施設停止中の事象であり、運転再開時は正常な動作を確認した後に行うため、他の工程への運転に影響は生じない。	
対応の概要	(1) 定められた保守作業手順に従って、グローブボックス内でリミットスイッチに付着した粉末の除去作業を実施する。 (2) リミットスイッチの作動を確認した後、定められた操作手順に従い搬送機の運転を再開する。 長期間の運転停止時には、定期的に作動確認を実施する。	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時取除範囲からの逸脱等 多重防護の劣化



本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。